

## ★漢方あれこれ★

## ◆神農さん◆

## 中国の薬の神様



太田 順康

中国の伝説の皇帝の一人、その姿は人身牛首で、頭角があり、草を加えている姿の像が多くあります。

農耕と医薬の祖とされ、今でも信仰の対象になっています。大阪の製薬会社や、葉間屋が並んでる道徳町に神農さんと親しまれている少彦名神社が有ります。

少彦名は出雲の薬の神様です。

農具を発明し、田畑を耕し五穀を栽培することを教えたので、神農と崇められるようになりました。

またあらゆる草木を毒見し、その薬としての効果や、毒草について教えたとされています。この時神農は一日に70種もの毒に遭ったと云われています。また五弦の琴を作り、音楽の楽しみを人々に教えたり、市を開いて物々交換の仕方を教えたり、八卦を作ったり、結構多芸な皇帝だったようです。

私たち漢方家が薬の効果を調べる基になっている一番古い書物に神農が撰したと言われる「神農本草経」があります。勿論神農が書いたものではなく、薬の神様の名前をつけて権威付けをした本です。

漢の時代に書かれた本の様です。

薬物として植物薬252種、動物薬67種、鉱物薬46種計365種が記載されています。

また薬の性質により上品、中品、下品の三種に分類されていて、上品は長く、多量に飲んでも無毒で不老延年し仙人になれる薬です。人参、甘草、黄耆などが有ります。中品は無毒と有毒があって気を付けて使用する必要がある薬です。病気を治し養生に使われます。柴胡、麻黄、芍薬、硫黄、水銀が有ります。下品は毒が多く、病気を治すために使われ、激しい作用があって、副作用も強く、長く飲んではいけない薬です。大黄、附子、連翹などが有ります。

(つづく)

お知らせ

在禅洞

すこやか教室 山歩き

◎10:30 出発です。

新しい年を迎え、おせちやお雑煮を戴き、家族や友だちとの語りいで、お腹もこころも温かくなっていることと思います。元旦から雪のお正月でした。寒い季節ですが、お天気が良ければ、松尾池や滝まで歩きます。

16日(金) 23日(金) 30日(金)

## § 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。  
岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記の様です。

8日(木) 19日(月) 26日(月)

太田先生の

「くらしの  
薬草と漢方薬」

ハーブ・民間薬・生薬

新日本法規出版  
B5版・総頁382頁  
価格 3,300円＋税



## § 1月の休診日

・1月8日(木)から始まります。  
12日(月) 成人の日



スモーカーライザーで肺の空気を検査

☆タバコをやめて、健康な体を

タバコを止める相談や治療は保険診療でできます

ニコチン依存を断ち切って、健康な生活を！